

野蒜復興新聞

日ごろの備えと心の備え

市内拠点および各倉庫に計68品目

防災備蓄用品説明会

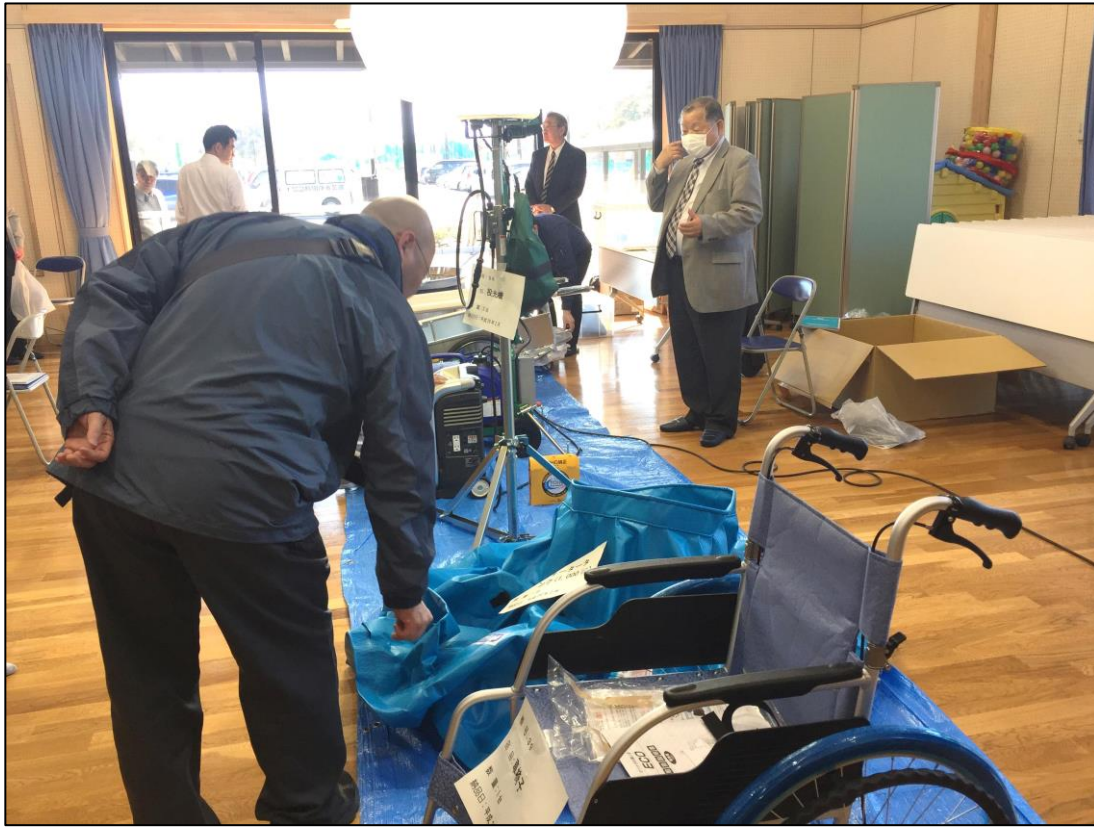
4月18日(火)、野蒜市民センターにて防災備蓄用品の取扱方法に関する説明会が開催されました。

市役所関係各課や野蒜地域内外から自治会長や、防災担当の方など、多くの来場者がありました。まず、発災から3日分を想定した食糧や飲料水等の

備蓄のあり方について定められた東松島市防災備蓄計画について説明がありました。その後、備蓄品について説明があり、参加者は熱心に聞いていた様子でした。

備蓄品目(抜粋)

- ・食糧、飲料水関連
(調理不要食、粉ミルク、飲料水、調理用機材)
- ・生活関連
(毛布、簡易寝袋、簡易トイレ、紙おむつ等)
- ・発電照明関連
(発電機、投光機、懐中電灯、燃料等)
- ・資機材関連
(ブルーシート、車椅子、ラジオ、テント等)
- ・医薬品等



▶ 展示された備蓄品を熱心に確認する参加者



▶ 災害用マンホールトイレの内部

野蒜まちづくり協議会 会長就任のご挨拶

震災前から平成28年度まで、野蒜地域のまちづくりや復旧、復興にご尽力されました齋藤壽朗前会長の後を引き継ぎ、平成29年度より野蒜まちづくり協議会の会長に選任いただきました早川です。

今年の3月で震災から6年が過ぎました。野蒜ヶ丘においては、宮野森小学校も新たな校舎で新入生を迎え、子どもたちの元気な声も聞かれるようになりました。また、旧野蒜駅プラットフォームホームを含む、メモリアパークに係る周辺整備や運動公園などの計画も少しずつ進んでおり、野蒜に活気が戻りつつあります。

まだまだ多くの課題が山積しておりますが、たくさんの方の可能性を秘めているこの野蒜の地で、地域の皆様や関係団体の方々と性別年代を超えたまちづくりをしていきたいと思っておりますので、ご協力の程どうか宜しくお願い致します。

野蒜まちづくり協議会 会長 早川宏



野 蒜 北 部 丘 陵 振 興 協 議 会

丁目ごとの意向確認に向けて

高台移転・災害公営住宅部会
合同 会 議

4月12日(水)および18日(火)に、高台移転・災害公営住宅部会合同会議が開催されました。

4月12日(水)は、地区自治会の地区割りについて協議されました。顔合わせ会および地区割り検討会を踏まえて、一度、丁目ごとの地区割り候補決定会を行い、地区割り検討会の結果および部会案を説明した後、地区割り候補を決定したうえで、6月4日(日)開催予定の総会により最終決定することになりました。

18日(火)は、丁目ごとの地区割り候補決定会について内容が協議され地区割

最終組み合わせ案の5案と、そのうち部会案として推薦する3案が最終確認されました。

地区自治会の地区割り候補決定会の開催について

左記により開催することになりました。地区自治会の丁目ごとの地区割り候補を決める重要な会ですので、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

①日程.. 5月10日(水)
対象.. 野蒜ケ丘二丁目

②日程.. 5月11日(木)
対象.. 野蒜ケ丘一丁目

③日程.. 5月12日(金)
対象.. 野蒜ケ丘三丁目

※各回19時から開催
場所.. 野蒜市民センター
多目的ホール

連絡先
野蒜北部丘陵振興協議会事務局

担当.. 齋藤、千葉
電話.. 022・582・1111
(内線.. 1494, 1495)

みんな
忘れないで
きてね!



野蒜まちづくり協議会
イメージキャラクター
マックん

4月12日(水)の合同会議の様子



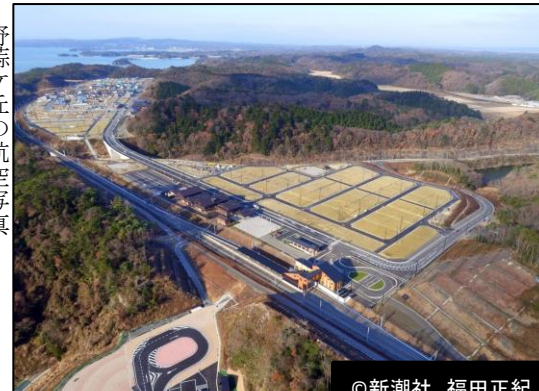
野蒜想いのリレー

UR都市再生機構
東松島復興支援事務所
前所長 清水良祐

野蒜北部丘陵(野蒜ケ丘)地区は平成24年11月に工事着手して平成28年の11月に宅地完成を迎えることが出来ました。概ね4年間で、野蒜まちづくり協議会、野蒜北部丘陵振興協議会、地域の皆様等、ご協力ありがとうございました。

野蒜北部丘陵(野蒜ケ丘)地区には4つの都市像があります。

①高台移転として復興の象徴となる安全な「防災都市」
②特別名勝松島の景観・風景への配慮による東松島の美しい自然・景観になじむ「美観都市」
③森林開発による空間整備で実現



野蒜ケ丘の航空写真

©新潮社 福田正紀



▲2016年11月ひがしまつしま福幸まつりの一幕

気軽に使って頂けるよう幹線道路に結ぶ歩行者専用道路は野蒜ケ丘を形成する住宅や公共施設、公園緑地等をつなぐ接点となり、ご近所の方々が気軽に顔を合わせる空間へ橋渡しをする安全な歩道としてご利用いただけます。野蒜ケ丘で四季を感じながら、地区全体をゆつくり散歩していただきたいと思っております。

する緑と公共空間の中で風を感じる「環境都市」
④環から、自然環境・周辺森林境未来都市構想による穏やかな暮らしを次世代につなげた街並み景観を創り出し、3つのエリアに公営住宅を配置し、景観や緑化、落ち着いた色など、地味でまいました。

野蒜ケ丘は一丁目、二丁目、三丁目の3つのエリアに分かれています。各エリアを結び、野蒜駅につながる野蒜1号線と、東名駅をつなぐ野蒜2号線、そして台前亀岡線・大茂倉長石線につなぐ道路を整備するこの価値を見つけて、共有して、その価値を維持、守っていただけるよう活動を盛んに行なうことが、野蒜ケ丘、ふるさとの魅力を向上することにつながると考えています。その皆さまに野蒜をふるさととして愛着を持って頂けるよう、安心な生活が営まれることを祈願いたします。

また、各エリアの中心に公園を計画しました。公園は5つのコンセプト(木・水・里・空)を持ち、魅力向上することにつながります。また、各エリアの中心に公園を計画しました。公園は5つのコンセプト(木・水・里・空)を持ち、魅力向上することにつながります。また、各エリアの中心に公園を計画しました。公園は5つのコンセプト(木・水・里・空)を持ち、魅力向上することにつながります。